

雪室の試作について

島根県立三瓶自然館

福岡 孝・押越 正雄

1. 趣旨

- ・ 冬季の雪の利用ができないか（利雪）
→ 雪ずりなどの雪を利用
- ・ できれば夏頃まで保存できないか（貯蔵期間）
→ 話題性や集客の効果を狙う

2. 先進地の例

北海道沼田町

3. 雪室の試作（第1図）

- ・ 入れ子靱殻式
- ・ 発泡スチロール式

4. 注意した点

- ・ 雪は気温の低いときに入れる
- ・ 直射日光が当たらないようにし、箱を白いシートで覆う
- ・ 箱からの漏水で融雪を判断

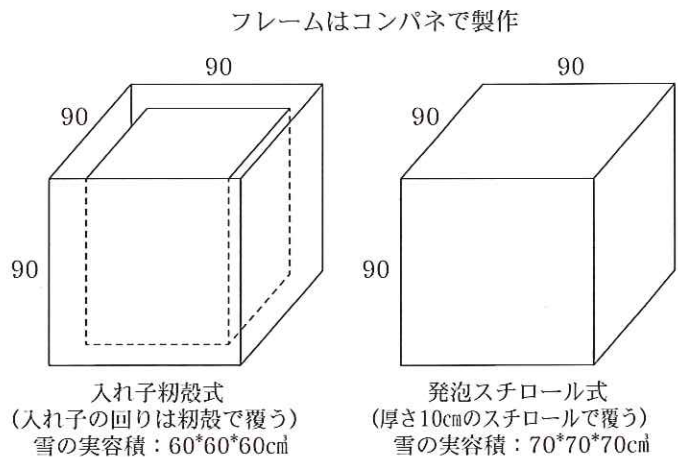
5. 結果

今回の試作品は、熱容量が非常に小さいため、3月末～4月初めで雪は溶け、長期間の貯蔵は困難であった。

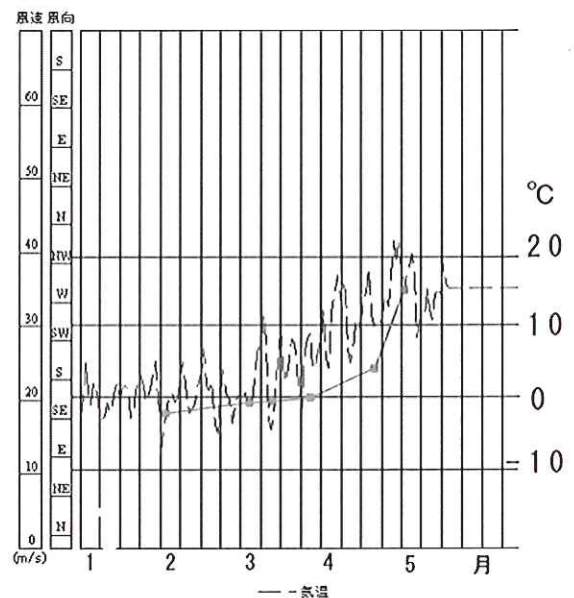
第2図：気温と雪室内（靱殻式）の温度変化

6. 問題点と課題

- ・ 長期間の貯蔵には、大量の雪の貯蔵方法を検討する必要がある。
- ・ 地面に穴を掘り、シートと靱殻での雪の貯蔵なども検討したい。



第1図 製作した雪室



第2図 雪室内の温度と外気温